

| | |
|---|-----------------------|
| 新技術・情報名 | キウイフルーツの開花日、着果位置と果実肥大 |
| 場所名 | 長崎県果樹試験場 |
| <p>1. 成果の内容</p> <p>1) 技術・情報の内容及び特徴</p> <p>キウイフルーツは開花期間が約1週間と長く、また結果枝内の着果位置によって果実の形質が違っていることが観察される。そこで、摘蕾や摘果を行う際の参考にするため、開花日、着果位置と果実肥大の関係を明らかにした。</p> <p>ハイワードを供試し、開花始期の5月16日から開花終期の5月22日まで当日開花した花を選び、その結果枝に着生した花の着花位置及び開花日を調査した。果実は11月20日に収穫して果実重、果径及び果実品質を調査した。</p> <p>(1) 果実は開花日が早いほど大きい傾向にあった。</p> <p>(2) 糖度や酸含量は開花期による差は見られなかった。</p> <p>(3) 果実は着花位置が先端ほど大きい傾向にあった。</p> <p>(4) 結果枝基部の果実は扁平率が高かった。</p> <p>(5) これらのことから開花日が早いほど、また着花位置が先の果実ほど大果になる。</p> <p>2) 技術・情報の適用効果</p> <p>3) 適用範囲</p> <p>4) 成果の利活用・普及指導上の留意点</p> <p>開花日はその年の気温によって多少前後することがある。</p> | |

2. 具体的データ

表1 開花日の違いが果実肥大、品質に及ぼす影響

| 開花日 | 果実重 | 糖度 | 酸含量 |
|-------|-------|-----|---------|
| | g | | g/100ml |
| 5月16日 | 103.1 | 5.9 | 2.40 |
| 17 | 94.8 | 6.1 | 2.51 |
| 18 | 98.5 | 6.2 | 2.58 |
| 19 | 99.8 | 6.1 | 2.53 |
| 20 | 91.5 | 6.5 | 2.62 |
| 21 | 73.7 | 6.2 | 2.58 |
| 22 | 69.0 | 6.2 | 2.53 |

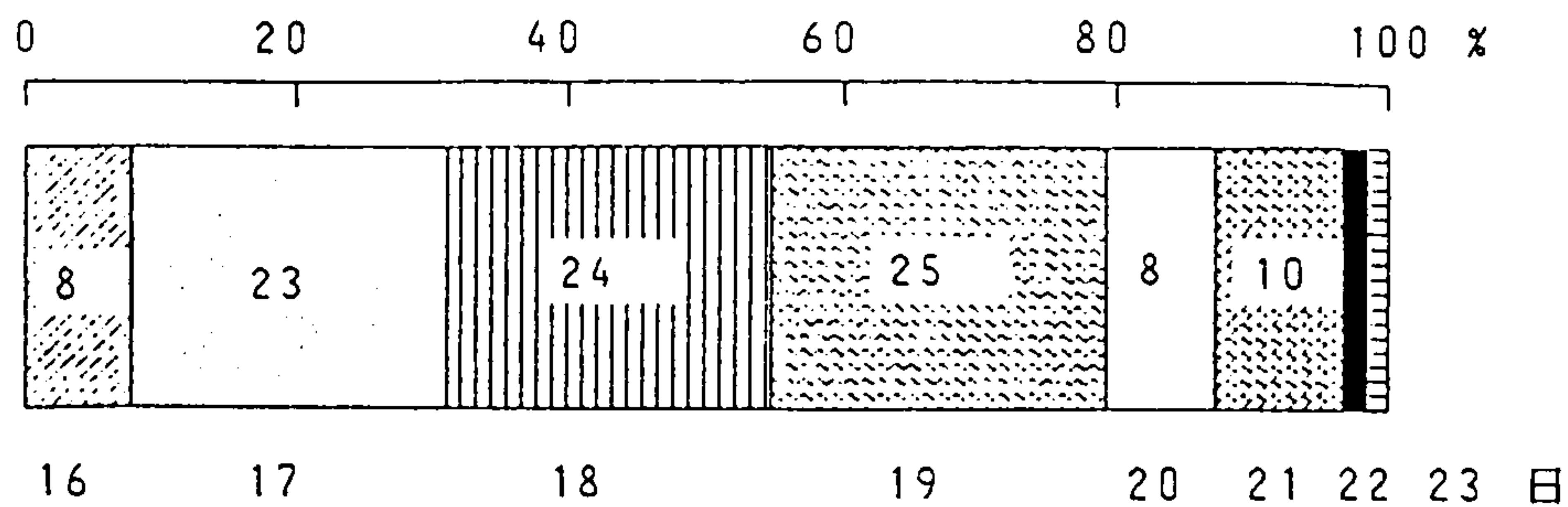


図1 キウイフルーツの日別開花割合

表2 着果位置が果実肥大に及ぼす影響

| 着果位置 | 果実重 | 扁平率 |
|------|-------|------|
| | g | |
| 1 | 100.9 | 88.4 |
| 2 | 104.3 | 90.3 |
| 3 | 104.7 | 92.9 |
| 4 | 104.6 | 93.3 |
| 5 | 108.8 | 95.3 |

3. その他特記事項